

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4050
20年4月24日(金)
Tel・Fax 095-828-1953

情報隠し、ウンで拡散？

おはようございます。

ついに長崎市でもコロナの集団感染、クラスターが発生した。恐れていたことが現実となったのだ。

二月、長崎の三菱造船所が、中国の上海にいたイタリアの客船の修理を受注し、香焼ドックに係留すると報道されたとき、「だいたいぶかな」と心配の聲が上がった。

しかし三菱も県も市も、乗下船の自粛要請をしているので『心配ない』としてきたが、二十二日、いきなり三十四人のクラスターとなった。(二十三日の午前現在、感染者は四人に拡大している)



報道では、この間、同船(乗船員六百人)には、交代要員として国外からの入国者の四十人が新たに乗り込み、九十人が下船していた。また乗組員はバスを船に横付けし外出もしており、自粛要請など守られていなかったのだ。

長崎中郵は市の南部、三菱付近を配達するが、ある友人の話として、三菱造船所で働く人は、客船の乗員が下船していることを知っていたというし、近辺では公知の事実だったのだ。



これを三菱造船所のトップが知らないはずがない。国、県や市、三菱の合同記者会見で

「市民に嘘をついていたのか」と問われた。三菱の常務は「まちがった情報を制御できなかった」と言い逃れをしていた。そこでは、君は違うだろうといたい。「正しい情報を制御していたのだ」し、罪は二重に重いのだ。

異常のときはとりわけ、情報隠しやウンが一番いけない。しかも市民の命にかかわることで、嘘をつくとは、許されない態度である。これが世界的な大企業が

することかと思う。しかもこの記者会見には造船所のトップの所長は出ていない。責任者が出てきて、市民に謝るのが、一番の誠意であろう。

断っておくが、コロナ肺炎感染が悪いわけではない。今回のコロナ肺炎は、誰もが感染する可能性があり、加害者ともなりうるし、不注意と批判されるいわれもない。



ただこの時期、外国からの交代要員だから、入管手続きがあり、国はこれを把握していたのだ。これでは国(税関)と県と市と三菱の四者一体で情報を隠していたことになる。(県や市は知らなかったと不快感を示したというが、本当か?)

長崎県のベッド数は百床くらいと聞く。この集団感染が広がれば県だけでは対応できない。まさに嘘が招いた危機なのだ。

では今後だ。未知のウイルスだけに、いっさいが不明だが、ただひたすら医療関係者の頑張りに期待、感謝し、自らは行動自粛をする以外に、協力の手はない。(寄付やカンパはできるが、仕事は続く)。

今回のコロナ禍を戦争だとするとところがある。日本も緊急事態宣言を出した。戦前の歴史では戦争を「事変」と呼び、非戦を願う国民をだましたが、いまは非常時の情報隠しはないのだろうか。

いま、ネットなどをみると、水面下ではいろんなことが進んでいる。一番は世界中で起きている自国第一主義、国家主義である。日本でも同じだ。「国家主義(ナショナリズム、全体主義)は排外主義と人種差別を煽る」と、作家の五木寛之は批判的に書く(『聖書と歎異抄』)が、同感だ。

さらに政権や行政を批判する人やマスコミを、「国賊だ」とか「同じ国民だろうが」とか批判し、声高に同調圧力を加え、反対派や少数派排除が急速に進んでおり、これは維新系の政治家にとくに多い。「十万人をもらう公務員を処分しろ」ともいうのだ。

こんな時代だから、最後に「イソップ物語」で、昔人の警告をふりかえる。イソップ物語(岩波文庫。NO26)の「水を打つ漁師」

から。

漁師が川で漁をしていた。網を張り、石で水を打ち、驚いた魚が網にかかる漁法だ。これを見た近所の住民が、「これは川の水が濁り、水が飲めない」と文句を言うと、漁師は、「こうやって川のかきまぜないと、俺様が飢え死にせにやならん」といった。

これを書いたイソップは、「このように、国の場合でも、扇動政治家は、祖国を内紛へと誘導するとき、もつとも力を発揮するのだ」と注意喚起を語る。もともとイソップは紀元前六百年ころの人で、奴隷であったから、民族差別、身分差別、格差の生き証人だ。



最後に、コロナ禍は、百年に一度のパンデミックで、日常の仕組みや前提が破壊され、非日常の異常さが当たり前となる。法も権利も足蹴にされる時代だ。

感染阻止は社会的距離、隔離が必要だが、人は連帯を求めて、つながり合う心が大事だ。仲間とともに支え合い、コロナ禍を乗り越える勇気と力を持つとう。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。

ゆめが、均等待遇、なげんご差別。ユニオンは労働法裁判に勝利を！